

『風にのってきたメアリー・ポピンズ』

びーる P.L.トラヴァース／作 林 容吉／訳

岩波書店 933 ト

よ



バンクスの子どもたちの
お世話をしにやってきたメアリー・ポ
ピンズ。なんと彼女はこうもり傘で風に
の乗ってやってきました。ジェインとマイケルは、
そんな彼女にきょうみしんしん。すぐに心を開い
ていきます。

『おそうじロボットのキュキュ』

こもり まこと／作 偕成社 E



え

はたらきもののキュキュは、ちょっ
ぴりふるい おそうじロボットです。そんな
キュキュは あめがにがて。あるあめのひ、
からだにあめがはいって うごけなくなってしま
いました。キュキュのいない キングドリンク・ショッ
プは どんどんよごれていってしまいます。

『漢字の絵本 雨のしずく』

飯島 太千雄、乾 侑美子／構成・文

小学館 811 イ

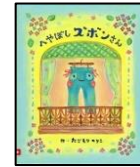
ち



天気が悪い時に降ってくる“あめ”
を漢字で書くと“雨”という字にな
ります。“雨”の字は何千年以上も昔に生まれ、色々
な形に変わりながら今の漢字になったのです。昔
の“雨”にはどんなものがあるのでしょうか。

『へやぼしズボンさん』

え



たごもり のりこ／作

BL出版 E

サラさんがランチにいったひ、ごごからあめが
ふると きいたへやぼしズボンさん。いえをとびだ
し、サラさんに カサをとどけにいけます。あと も
うすこしで とうちゃく！でも、ちょっとつかれた
から ひとやすみ。ズボンさんは あめがふるまえ
に カサをとどけられるのでしょうか。

あめでも
たのしいね



『はっぱのおうち』

!!!

征矢 清／さく

林 明子／え 福音館書店 E



さちが にわであそんでいと、
ぽつん と あめがふってきました。でも だいじょ
うぶ。はっぱのおうちにかくれましょう。 さちが
あまやどりはじめると、もんしろちょうや てん
とうむしが やってきましたよ。

『ふるふるひめ』

よ



大窪 いく子／作

山本 祐司／絵 文研出版 913 ナ

あしたはうんどうかい。ソウタは、リレーでゆう
しょうするときめていました。びょうきのおじい
ちゃんを ゆうきづけるためです。でも、あしたの
天気は雨。このままでは うんどうかいができません。
ソウタは てるてるぼうずをつくって、おねが
いすることにしました。

『おじさんのかさ』

佐野 洋子／作・絵 講談社 E

え



おじさんは じぶんのりっぱなかさが
だいすきです。ですが、まだ かさを
ひらいたことはありません。あるひ、
「あめがふったらポンポロン あめが
ふったらピッチャンチャン」という
うたをききます。きになったおじさんは、ついにか
さを ひらいてみることにしました。

『日本はじめて図鑑』

ち



田中 裕二／監修

ポプラ社 507 ニ

みんなの身近にあるものがいつから日本で使
われているか知っていますか？ この本には色々
なものの日本でののはじめてがのっています。雨の
日にだいかつやくするかさや長ぐつ、天気予報の
「はじめて」もあるので探してみよう！